

「第3回 実践的研究助成ワークショップ」のご案内

《2024年11月17日(日)》

ハイブリッド開催

参加無料

後援
大阪府教育委員会
京都府教育委員会
滋賀県教育委員会
奈良県教育委員会
兵庫県教育委員会
和歌山県教育委員会
大阪市教育委員会
神戸市教育委員会
堺市教育委員会
府県・政令指定都市別50首順

○日本生命財団は「子どもを巡る『真のウェルビーイング』の探求」を基本テーマに児童分野の研究に対して助成を行っています。

当助成は「実践的研究助成」と称し、研究チームは現場の実践家(教育・保育、心理、医療・保健・福祉現場の専門職、職員)を含めて構成する等を特色として、研究成果の社会還元・社会実装を目指しています。

○今回、助成に採択された10チームの研究成果を公開ワークショップ《11月17日(日)開催》にて発表いたします(プログラムは裏面ご参照)。

○ご参加は、ご来場(大阪・淀屋橋)、オンラインいずれも可能です。
お申込みは、下のQRコード、財団HPから。
＜参加無料＞

□「実践的研究助成」公募概要

助成期間	2年	1年
助成金額	最大400万	最大100万
助成対象	研究者、または実践家	研究者、または実践家(博士課程在籍者含む)
研究組織	研究者と実践家双方が必ず参画する	

※公募については、例年12月頃から開始いたします。

2024年11月17日(日) 10:30-17:15

TKPガーデンシティ大阪淀屋橋
〒541-0042 大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋ビル

申込〆切日 11月12日(火)



ご案内・お申込み

右記QRコード、または当財団ホームページからお申込みください。



ニッセイ財団 児童研究 ワークショップ



* 席数には限りがございますので、申込はお早目に。

《プログラム》

10：30 開会挨拶 日本生命財団 理事長 長谷川 靖

10：40 実践的研究助成報告

『社会的養護施設初任職員の効力感向上プログラム開発と効果の検討』

瀧井 綾子 氏（鹿児島女子短期大学 助教）

『VR技術を用いた児童相談業務のスキル向上、ストレスに関する研究』

宮川 哲弥 氏（東京都市大学 准教授）

『児童自立支援施設と学校教育の連携を支える教育経営』

辻野 けんま 氏（大阪公立大学大学院 准教授）

『未来志向の活動を通じた居場所形成：新しい不登校支援の検証』

神崎 真実 氏（追手門学院大学 講師）

『非行少年に対する地域定着支援体制のモデル構築と実証的評価』

大原 天青 氏（東京都福祉局 児童福祉司）

『UR団地での多文化共生の多面的プログラム提供と指導者育成』

藤田 優一 氏（武庫川女子大学 教授）

『養護教諭のスキルラダーを活用したオンライン研修システムの開発』

中村 富美子 氏（静岡県沼津市立大岡中学校 養護教諭）

『ストレス対処に着目した思春期食育プログラム—ICTを用いた評価実践』

早見 直美 氏（大阪公立大学大学院 准教授）

『貧困状態にある子どもの非認知能力を育成する学習プログラムの 開発と効果検証および開発条件に関する研究』

柏木 智子 氏（立命館大学 教授）

『学校教育現場における「ストレスマネジメント教育」の実装』

嶋田 洋徳 氏（早稲田大学 教授）

16：45 総括 日本生命財団 児童・少年の健全育成助成選考委員会 委員長 松見 淳子

17：15 閉会